

地質調査技士登録更新講習会

会員要覧

技術委員会

全地連の「地質調査技士資格検定試験」は、昭和41年の制度創設以来29回の試験を実施し、既に11,000名の「地質調査技士」を世に送り出し、また昭和59年に、この試験制度は建設大臣認定となり、さらに元年にはこの地質調査技士が地質調査業者の現場管理者として広く認定されるようになりました。

昭和59年に、この建設大臣認定を機会に制度の見直しを行ない、5年毎の登録更新制を導入し、地質調査技士が最近の技術革新に対応した新しい技術を身に付ける再教育システムを取り入れるようになり、平成6年9月現在登録更新をしている「地質調査技士」も約8,300名となっております。

平成6年度は、この10年間の経験を踏まえて、講習会のテキストも一新すると共に各地区協会の独自企画の部分も加えられ、地質調査業を取り巻くさまざまな環境変化など、従来より、より幅広く、地質調査についての理解を深めて戴く事を主眼とした内容となっております。

東北地区の第29回の講習会は、平成6年11月24日、25日の両日、「ろうふく会館」にて開催され、講師を担当した当協会の技術委員9名の講演に、150名の受講生も熱心に聴講されておりました。

